

特記仕様書(1)

本特記仕様書は、「令和8年度 国道479号放出共同溝地質リスク検討等業務委託」(以下、本業務)に適用する。

1. 業務概要

本業務は、国道479号放出共同溝整備区間の地域特性および構造特性を踏まえ、地質調査および地質リスク分析評価を行い、さらに後続の調査、設計および施工方針を立案し、今後の設計・施工の効率化と安全な実施に寄与することを目的とする。

2. 適用

本業務は、大阪市建設局作成による「工事請負共通仕様書(令和3年3月)」および「業務委託共通仕様書(平成28年9月)<令和5年9月1日以降発注分より適用>」に基づくほか、各特記仕様書に基づいて実施しなければならない。

なお、詳細については「大阪市建設局ホームページ>産業・ビジネス>入札契約情報>各局等入札契約情報>建設局>入札・契約のお知らせ>共通仕様書のダウンロード>業務委託共通仕様書>業務委託共通仕様書(平成28年9月)<令和5年9月1日以降発注分より適用>」に掲載されている。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000538650.html>

3. 歩掛適用年月

本業務の積算に用いている歩掛は、大阪市土木工事標準積算基準書「1-1-1-1 適用範囲等」に記載の(前期改訂:4/1)および設計業務等標準積算基準書(令和7年度版:国土交通省監修)、全国標準積算資料(土質調査・地質調査)令和7年度改訂歩掛版(一般社団法人 全国地質調査業協会連合会)を適用している。

【積算基準関係図書のダウンロードについて】

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000035394.html>

4. 作業時間について

本業務のうち、地質調査において、作業時間帯は以下のとおりとするが、関係機関との協議の結果、変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

作業時間帯：昼間施工

委託場所：国道479号

5. 単価適用年月について

本業務の積算に用いている設計業務委託等技術者単価および公共工事設計労務単価については、

国土交通省より令和8年2月17日付で示された「令和8年度 設計業務委託等技術者単価」および令和8年2月17日付で示された「令和8年3月から適用する公共工事設計労務単価」を適用している。

6. 配置技術者

- 1) 本業務の実施に際し、業務委託共通仕様書の規定に従い実施するものとする。
- 2) 各配置技術者（管理技術者、主任技術者、照査技術者、担当技術者）は、本業務委託で実施した公募型プロポーザル方式の際に提出した、技術提案書の業務実施体制（様式3）に記載された人物と同一でなければならない。

ただし、病休、死亡、退職等のやむをえない理由により変更を行う場合は、本市が要求する資料等の提出を行ったうえで、同等以上の技術力を持つ技術者であることの了解を得なければならない。

7. 貸与品

- ・ （仮称）放出共同溝概略検討業務委託
- ・ 幹線共同溝概略検討業務委託
- ・ 国道479号放出共同溝土質調査業務委託
- ・ 国道479号放出共同溝基本設計業務委託
- ・ 国道479号放出共同溝測量業務委託

なお、上記以外の貸与資料については、必要に応じて本市監督職員から貸与する。

8. 業務内容

（1）地質調査

- 1) 地質調査内容については、設計書および別紙「土質調査内容一覧表」のとおり。

なお、ボーリング箇所数は、別紙「国道479号放出共同溝土質調査 調査位置予定図」の3箇所程度を想定するが、箇所数、延長および試験項目は想定であり、本業務において実施する地質リスク分析、評価に基づき監督職員と協議の上で決定するものとする（現時点では追加ボーリング調査は2箇所を想定している）。ボーリング深さや調査項目・数量等が変更となった場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

- 2) 「準備および跡片付け」は、資機材の準備・保管等、ボーリング地点の整地・跡片付け、占用許可および作業申請手続き、位置出し測量等である。
- 3) 「資料整理とりまとめ」は各種計測結果の評価および考察（異常データのチェックを含む）、資料の観察、ボーリング柱状図の作成等である。
- 4) 「断面図等の作成」は、地層および土質性状の判定、土質又は地層断面図の作成等である。
- 5) 本業務で作成した地質断面図および既存資料における地質断面図を基に地質想定断面図を作成し、資料整理・とりまとめを行うこと。

(2) 地質リスク検討

- 1) 「計画準備」は、業務の目的・主旨を把握したうえで、業務内容を確認し、業務計画書を作成する。
- 2) 「現地踏査」は、国道479号放出共同溝の地域特性（地形、地質、地下水、土地利用、近接構造物など）を踏まえ、現場踏査を行うこと。なお、現地踏査の範囲については、事前に監督職員と協議のうえ決定するものとする。
- 3) 「資料収集」は、国道479号放出共同溝の地域特性に関する資料の収集を行う。
- 4) 「空中写真判読」は、国道479号放出共同溝周辺の航空写真から地域特性に関して写真判読を行う。
- 5) 「地形地質解析」は、上記2)～4)等を踏まえ、地形地質について解析する。
- 6) 「地質リスク事例の収集」は、国道479号放出共同溝に類似した地域特性や構造特性等で発現した地質リスク事例について文献調査を行う。さらに、必要に応じて関係者へのヒアリングを行うものとし、実施に当たっては、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とする。
- 7) 「地質リスク分析・評価」は、上記5)、および6)を踏まえ、予想される設計および施工における地質リスクの抽出および分析・評価、土質ボーリング（オールコアボーリング）の調査位置および各種試験の種類・回数の検討を行う。なお、地質リスクの抽出および分析・評価を行うにあたっては、「地質リスク低減のための調査・設計マニュアル（案）（令和3年3月国土交通省近畿地方整備局）」を参考に下記地質リスク項目について、評価検討を行うものとし、これに寄りがたい場合は、監督職員と協議をするものとする。
 - ① 計画地域の地形地質の特徴と危険区域の抽出
 - ② 過去の災害履歴と被害想定のとりのまとめ
 - ③ 地盤環境の特徴とリスク保有地区の抽出
 - ④ 地下水環境の特徴とリスク保有地区の抽出
 - ⑤ 地質リスクの発生確率と被害規模の予測
 - ⑥ リスクのランク付け
 - ⑦ リスク保有に際しての対応策の検討
- 8) 「調査、設計および施工方針の立案」は、上記7)の結果を踏まえ、補足する調査、設計および施工の方針を立案する。なお、方針の立案にあたっては監督職員の承諾を必要とする。また、立案した方針は「発注者、関連する調査、設計および施工業務受注者」へ情報共有を行うものとする。
- 9) 「報告書作成」は、評価結果および資料作成内容について業務報告書を取りまとめるものとする。

9. 打合せ

- (1) 業務における打合せは、業務着手時、中間打合せ（4回）、成果品納入時に行うものとしており、原則として管理技術者が立ち会うものとする。また、打合せ内容については毎回議事録を作成し速やかに監督職員に提出すること。

- (2) 中間打合せについては4回とするが、協議等により変更できることとし、設計変更の対象とする。ただし、受注者側の理由によるものは設計変更の対象としない。

10. 協議・調整資料作成について

本業務の実施に必要な関係機関協議について、協議資料・説明資料を作成するとともに、協議結果等により適宜修正を行うこと。地質調査に必要な手続きなどは準備費にて計上している。

なお、作成における詳細事項については、本市監督職員と協議の上、作成するものとする。主な内容を以下に示す。

- ・ 参画企業体との協議資料
- ・ 関係機関との協議資料

11. 関連業務等について

本業務と別途契約予定である「国道479号放出共同溝詳細設計等業務委託（仮称）」および別途契約済みの「電線共同溝・国道479号放出共同溝事業に関するCM業務委託」と業務間の調整を十分に行うこと。

12. 安全対策等

地質調査を行うに際しては、必要に応じて安全対策を実施し、車両・歩行者等の通行に影響が生じないように十分注意して作業を行い、誘導の必要な場合は、交通誘導員により誘導すること。作業中に危険な状況が予測される場合は、直ちに作業を中止し、安全の確保を最優先するものとする。

13. 建設副産物対策

受注者は、業務の実施に当たって、「大阪市建設リサイクルガイドライン」（平成30年5月）の記載事項を遵守して、建設副産物の適正な処理および再生資源の活用を図らなければならない。なお、本ガイドラインは、大阪市建設局ホームページを参照すること。

（掲載場所：大阪市ホームページから 産業・ビジネス＞入札契約情報＞各局等入札契約情報＞建設局＞入札・契約のお知らせ＞）

14. 履行報告書とりまとめ

- (1) 業務委託共通仕様書Ⅰ－1－1－1－36に準じ、履行報告書としてとりまとめること。
- (2) 報告書作成においては、資料毎に目次を作成し、インデックスを使用するなど、判別が容易となるよう取りまとめるものとする。なお、設計に使用する算式などについては、参考図書の該当ページを全て記載し、当該ページの写しを添付するものとする。
- (3) 通常の報告書作成とは別に、一連の報告書（概要版）として整理し取りまとめ、A4版2つ折り糊付け製本を5部提出すること。

15. 成果品の提出

電子データはオリジナル版とPDF版を提出するものとする。

(1) 成果品の提出物は次のとおりとする。

- ① 調査報告書、資料（A4判パイプ式ファイル） 2部
- ② 電子データ（CD-RまたはDVD-R等） 2部

(2) 電子媒体はCD-RまたはDVD-R等を原則とし、必要な文字、数値等の内容が判読できる精度を確保するものとする。

(3) 本業務の成果品は、履行期限内においても直ちに道路事業の遂行に使用することがあるため、監督職員の指示がある場合は随時提出するものとし、その成果品の使用权は本市が有するものとする。

(4) 報告文書等に用いる電子データは、Microsoft Office Word、Excelにより作成することを原則とし、かつ本市各電子データ処理環境（以下「本市システム環境」という。）にて適正に動作確認ができなければならない。また、監督職員に、作成する電子データが本市システム環境に対応可能であることを事前に確認しなければならない。

(5) 受注者は、納品すべき成果品が完成した時点で、必ずウイルスチェックを実施し、コンピューターウイルスが存在していないことを確認しなければならない。なお、ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用するものとする。

(6) 電子媒体には、「業務名称」、「何枚目／全体枚数」、「完成年月」、「発注者名」、「受注者名」、「ウイルスチェックに関する情報」を明記しなければならない。「ウイルスチェックに関する情報」は、使用した「ウイルス対策ソフト名」、「ウイルス定義年月日」又は「パターンファイル名」、「チェック年月日」を明記するものとする。

(7) 電子データのレイアウトは、以下「成果品のレイアウト（参考）」のとおりとする。

(8) その他、電子納品の作成に係る詳細な要領および仕様については、監督職員の指示による。

成果品のレイアウト（参考）



16. その他

- (1) 受注者は、本業務で知り得た内容を他に漏洩してはならない。
- (2) 公的機関以外での立入りの場合は、特に監督職員と綿密な打合せを行うこと。
- (3) 成果品の提出においては、監督職員と綿密に打合せや連絡調整を行うこと。
- (4) 委託期限に関わらず、監督職員より成果品の一部を提出するよう指示を受けた場合は、監督職員と協議のうえ提出するものとする。
- (5) 本業務遂行にあたり、疑義が生じた場合は、その都度監督職員と協議し、その内容を確認したうえで業務を遂行しなければならない。

特記仕様書(2)

(条例の遵守)

第1条 受注者および受注者の役職員は、当該業務の履行に際しては、「職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」(平成18年大阪市条例第16号)(以下「条例」という。)第5条に規定する責務を果たさなければならない。

(公益通報等の報告)

第2条 受注者は、当該業務の履行について、条例第2条第1項に規定する公益通報を受けたときは、速やかに、公益通報の内容を発注者(建設局総務部総務課)へ報告しなければならない。

2 受注者は、公益通報をした者又は公益通報に係る通報対象事実に係る調査に協力した者から、条例第12条第1項に規定する申出を受けたときは、直ちに、当該申出の内容を発注者(建設局総務部総務課)へ報告しなければならない。

(調査の協力)

第3条 受注者及び受注者の役職員は、発注者又は大阪市公正職務審査委員会が条例に基づき行う調査に協力しなければならない。

(公益通報に係る情報の取扱い)

第4条 受注者の役職員又は受注者の役職員であった者は、正当な理由なく公益通報に係る事務の処理に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

(発注者の解除権)

第5条 発注者は、受注者が、条例の規定に基づく調査に正当な理由なく協力しないとき又は条例の規定に基づく勧告に正当な理由なく従わないときは、本契約を解除することができる。

(発注者：大阪市 受注者：請負者)

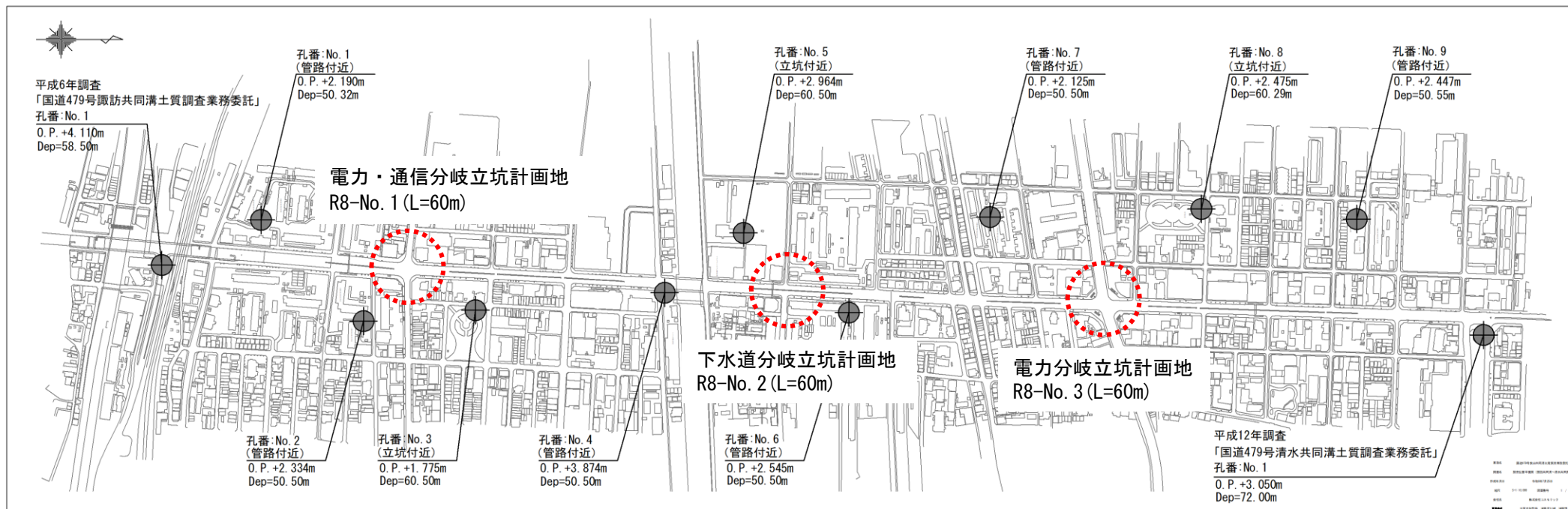
特記仕様書(3) 生成AI利用に関する特記仕様書

受注者又は指定管理者（再委託及び再々委託等の相手方並びに下請負人を含む）が生成AIを利用する場合は、事前に発注者あて所定様式により確認依頼をし、確認を受けるとともに、「大阪市生成AI利用ガイドライン（別冊 業務受託事業者等向け生成AI利用ガイドライン第1.1版）」に定められた以下の利用規定を遵守すること。

生成AIの利用規定

- 生成 AI を利用する場合は、利用業務の内容、利用者の範囲、情報セキュリティ体制等及び利用規定の遵守・誓約内容を事前に所定様式※により発注者宛に確認依頼をし、確認を受けること。 ※ 所定様式は大阪市ホームページからダウンロードできます
<https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000623850.html>
- 前記確認内容に変更等が生じた際には変更の確認依頼をし、確認を受けること。
- 生成 AI は、受注者又は指定管理者の業務支援目的に限定し、市民や事業者向けの直接的なサービスには利用しないこと。
- 画像及び動画の生成 AI サービスを利用する場合は、利用者が生成物を利用する際に他者の著作権を侵害しないよう選別したコンテンツで AI モデルの学習をしているサービスを利用することを原則とする。ただし、当該要件に該当しないサービス又は該当するか不明のサービスを利用する場合は、生成内容が既存著作物との類似性や無許諾での依拠がないことを確認し、かつ、成果物として利用する際は発注者の同意を得ること。
- インターネット上の公開された環境で不特定多数の利用者に提供される定型約款・規約への同意のみで利用可能な生成 AI の利用を禁止する。
- 生成 AI 機能が付加された検索エンジンやサイトは、一般的にインターネットで公開されている最新の情報を検索する目的でのみの利用とし、生成 AI による回答を得る目的での利用を禁止する。
- 生成 AI を利用する場合は、入力情報を学習しない設定（オプトアウト）をして利用すること。
- 契約又は協定の履行に関して知り得た秘密及び個人情報の入力を禁止する。
- 著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利を侵害する内容の生成につながる入力及びそのおそれがある入力を禁止する。
- 生成・出力内容は、誤り、偏りや差別的表現等がないか、正確性や根拠・事実関係を必ず自ら確認すること。
- 生成・出力内容は、著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の侵害がないか必ず自ら確認すること。
- 生成・出力された文章は、あくまで検討素材であり、その利用においては、受注者又は指定管理者が責任をもって判断するものであることを踏まえ、加筆・修正のうえで使用すること。
- 生成・出力内容は、上記に定める正確性の確認等を経たうえで、加筆・修正を加えずに利用（公表等）する場合は、生成 AI を利用して作成した旨を明らかにして意思決定のうえで利用すること。
- 情報セキュリティ管理体制により、利用者の範囲及び利用ログの管理などにより情報セキュリティの確保を徹底して適切に運用すること。

国道479号放出共同溝土質調査 調査位置予定図



※調査地点位置、箇所数、延長は想定であり、本業務において実施する地質リスク分析、評価に基づき監督職員と協議の上で決定するものとする

土質調査内容一覧表

孔名	深度 (m)	ボーリング												サンプリング		サウンディング および原位置試験							
		φ 116オールコア (m) 50m超～80m以下			小計 (m)	φ 86オールコア (m) 50m超～80m以下			小計 (m)	φ 66オールコア (m) 50m超～80m以下			小計 (m)	シン ウオール サンプラー (本)	二 重管式サ ンプラー (本)	標準貫入試験				孔内 載荷試験 (回) 普通 載荷	現場透水試験		
		粘性土	砂質土	礫質土		粘性土	砂質土	礫質土		粘性土	砂質土	礫質土				粘性土	砂質土	礫質土	小計 (回)		(20m以下) 一重管試験	(20m) 二重管試験	小計 (回)
R8_No. 1	60.0	17.0	3.0	6.0	26.0	3.0	-	5.0	8.0	15.0	7.0	4.0	26.0	2	1	32	10	15	57	4	-	2	2
R8_No. 2	60.0	14.0	6.0	12.0	32.0	2.0	2.0	-	4.0	14.0	10.0	-	24.0	2	2	26	18	12	56	5	2	3	5
R8_No. 3	60.0	23.0	8.0	5.0	36.0	-	-	-	0.0	7.0	17.0	-	24.0	2	3	25	25	5	55	6	2	2	4
合計	180.0	54.0	17.0	23.0	94.0	5.0	2.0	5.0	12.0	36.0	34.0	4.0	74.0	6	6	83	53	32	168	15	4	7	11

孔名	深度 (m)	室内土質試験											
		物理試験 (試料)						力学試験 (試料)			遊離・溶存ガス濃 度試験 (検体)		自然由来重 金属試験 (検体)
		土粒子密度	含水比	粒度 (ふるい)	粒度 (沈降)	液性・塑性 限界	湿潤密度	一軸圧縮	三軸圧縮 (UU)	圧密	サンプリング	分析試験	溶出試験
R8_No. 1	60.0	15	15	7	8	8	3	2	1	3	2	2	2
R8_No. 2	60.0	16	16	9	7	7	4	2	2	4	4	4	2
R8_No. 3	60.0	15	15	8	7	7	5	2	3	5	3	3	4
合計	180.0	46	46	24	22	22	12	6	6	12	9	9	8

別表1 各孔の調査および試験内訳

R8_No.1(電気・通信分岐立坑)

[illegible]

※箇所数、延長および試験項目は想定であり、本業務において実施する地質リスク分析、評価に基づき監督職員と協議の上で決定するものとする

R8_No.2(下水道分岐立坑)

標尺 GL(m)	深度 (m)	想定地盤	機械ボーリング									サンプリング		原位試験		室内土質試験													
			φ 116mm			φ 86mm			φ 66mm			シン ウオール	デ ニ ソ ン	標準貫入 試験			孔内 載荷 試験	現場透 水試験		物理試験				力学試験			遊離・ 溶存ガ ス濃度		自然 由来 重金 属
			粘性土	砂質土	礫質土	粘性土	砂質土	礫質土	粘性土	砂質土	礫質土			粘性土	砂質土	礫質土		一重管試験	二重管試験	土粒子密度	含水比	粒度 ふるい + 沈降	液性・ 塑性 限界	湿潤 密度	一軸圧縮	三軸 圧縮 UU	圧密	サン プリ ング	分析 試験
0.0		B			1										●				●	●	●								
	2.0				1										●				●	●	●								
	3.0	Ac1	1												●				●	●	●	●	●						
					1										●														
	5.0	As1		1													●		●	●	●								
-5.0				1											●														
			1												●														
			1												●														
			1												●														
			1												●														
			1												●														
			1												●														
			1												●														
	14.0		1												●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1											●														
				1																									

別表２ 各孔の調査および試験内訳

R8_No.3(電力分岐立坑)

標尺 GL(m)	深度 (m)	想 定 地 盤	機械ボーリング									サンプリ ング	原位置試験			室内土質試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			φ 116mm			φ 86mm			φ 66mm			シン ウ ォ ー ル	デ ニ ソ ン	標準貫入 試験			孔 内 載 荷 試験	現場透 水試験		物理試験					力学試験			遊離・ 溶存ガ ス濃度	自然 由来 重金 属																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			粘性 土	砂 質 土	礫 質 土	粘性 土	砂 質 土	礫 質 土	粘性 土	砂 質 土	礫 質 土			粘性 土	砂 質 土	礫 質 土		一 重 管 試験	二 重 管 試験	土 粒 子 密 度	含 水 比	粒度		液 性・ 塑性 限界	湿 潤 密 度	一 軸 圧 縮	三 軸 圧 縮 UU	圧 密	サ ン プ リ ン グ	分 析 試験	溶 出 試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
																						ふる い	ふ る い + 沈 降																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
0.0	1.0	B			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

※箇所数、延長および試験項目は想定であり、本業務において実施する地質リスク分析、評価に基づき監督職員と協議の上で決定するものとする